

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成23年8月25日(2011.8.25)

【公表番号】特表2010-539705(P2010-539705A)

【公表日】平成22年12月16日(2010.12.16)

【年通号数】公開・登録公報2010-050

【出願番号】特願2010-524918(P2010-524918)

【国際特許分類】

H 05 K 3/46 (2006.01)

【F I】

H 05 K 3/46 L

H 05 K 3/46 T

【手続補正書】

【提出日】平成23年7月8日(2011.7.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

部分的に剛性のフレキシブル回路を形成する方法であって、

第1のポリマー層、該第1のポリマー層を覆う第1の導電層、該第1の導電層を覆う第1のポリイミド接着層、及び該第1のポリイミド接着層を覆う第2のポリマー層、を有する剛性多層構造を提供する工程と、

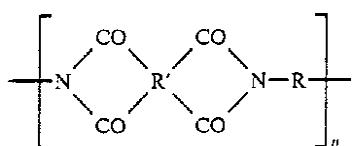
フレキシブル部分を形成するために化学エッチングによって前記第2のポリマー層及び前記第1のポリイミド接着層の一部を除去する工程と、を含む、方法。

【請求項2】

第1のポリマー層、該第1のポリマー層上のパターン形成されている導電回路層、該パターン形成されている導電回路層上の化学エッチング可能なポリイミド接着層、及び該化学エッチング可能なポリイミド接着層上の化学エッチング可能な第2のポリマー層を有する、部分的に剛性のフレキシブル回路を備え、

前記化学エッチング可能なポリイミド接着層は、以下の繰り返しユニット

【化1】



を有するポリアミド-イミドを含み、

式中、Rは二価のラジカルを表し、R'は三価のラジカルを表し、nは少なくとも5の整数であり、

前記第1のポリマー層及び前記ポリイミド接着層の位置合わせされている部分が除去され、それによって、フレキシブルな部分が形成されている、物品。